



沖縄及び北方対策担当大臣

茂木敏充

この度、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）を拝命した茂木敏充です。

復帰後三十余年が経過し、沖縄が新たな発展の基礎を築いていく重要な時期に担当大臣に就任し、大変光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いがします。

私は大臣として現場主義を貫きたいと考えています。就任直後に沖縄を訪れ、稲嶺知事をはじめ県内各界の多くの方々とお会いし、産業振興の問題、米軍施設・区域の問題など沖縄の抱える諸課題について忌憚のない意見交換を行うとともに、普天間飛行場の概況や沖縄科学技術大学院大学の予定地を自分の目で確かめました。今後とも現地を訪問し、県内各界各層の皆さんの声もお聴きしたいと考えています。

沖縄が本土に復帰して以来、政府は三次にわたる振興開発計画を策定し、総額約七兆円の国費を投入して、社会資本の整備を中心に本土との格差是正に努めてきました。その結果、県民各位の御努力と相まって、沖縄は着実に発展を遂げてきました。他

方、今日なお沖縄の社会経済は厳しい状況にあり、自立型経済の構築に向けた一層の取組が極めて重要と認識しています。昨年四月に施行された沖縄振興特別措置法及び昨年七月に決定した沖縄振興計画もこのような考え方に基づくもので、これらに沿って、観光、情報通信、農林水産業等の各種産業の一層の振興、それを支える人材の育成や科学技術の振興など、沖縄の新たな発展に向けて、地元と一体となり積極的に取り組んでいくつもりです。

特にこれからは、沖縄の亜熱帯の美しい自然を始めとする地域特性や優位性を最大限にいかしていくという視点がますます重要となります。



ります。沖縄を中心とする半径千五百キロメートルの範囲内に東京、北京、香港、マニラがあり、沖縄は東アジアの中心に位置していると言えます。また、かつて琉球王国時代に、アジアの国々を結ぶ海洋国家として盛んに交易・交流を行い、独自の文化を育んでいったという歴史も有しています。こうした特性を生かしながら、沖縄にふさわしい産業の集積を図るとともに、また国際交流拠点の形成に向け、コンベンション機能の充実など諸基盤の整備を進めていく、これがこれからの沖縄の進む方向だと考えています。

また、私は、今回の組閣で若い世代の一人として起用されたことから、若く、新しい発想と行動力で、将来に向けた夢のある分野に積極的に取り組んでいくつもりです。沖縄科学技術大学院大学設立構想については、今後の沖縄振興の目玉となる大変重要なプロジェクトと考えており、構想の具体化に向け全力で取り組みます。先般、名護市において関係各位の多大なる御尽力の下、第一回国際シンポジウムを成功裡に開催

することができました。内外から集まった三百五十一人の研究者の関心と期待の高さを肌で感じるとともに、世界の一流の研究者がこの構想を支えてくださっていることを改めて認識し、心強く思いました。このシンポジウムの成功は、今後の構想の推進に大変意義のあることと感じています。

沖縄における米軍の存在は、我が国のみならずアジア・太平洋地域の平和と安定に大きく貢献している一方で、施設・区域の集中により県民の皆様には大きな御負担をおかけしています。私はこれまで一年間、外務副大臣として基地問題に取り組んできましたが、担当大臣として沖縄の抱える諸課題について、今まで以上に重く受け止めています。普天間飛行場の移設・返還をはじめ県民の皆様への御負担を少しでも軽減できるよう、誠心誠意取り組みます。

私は担当大臣として、県民の皆様への思いを一步一步実現していくことが自らの責務であると考えています。沖縄のために御尽力された歴代の沖縄開発庁長官、沖縄担当大臣等多くの方々への情熱、熱意をしっかりと引き継ぎ、沖縄の新たな発展に向けて精一杯努力していく決意を申し上げ、私のあいさつといたします。

沖縄及び
北方対策担当大臣に

もてぎとしみつ
茂木敏充氏が就任



平成十五年九月二十二日付けで沖縄及び北方対策担当大臣に茂木敏充氏が就任された。

平成五年衆議院議員選挙で初当選。平成六年衆議院運輸委員会理事、平成八年衆議院石炭対策特別委員会理事、同年衆議院商工委員会理事、平成九年衆議院内閣委員会理事、同年衆議院外務委員会理事、平成十一年通商産業政務次官、平成十二年衆議院議院運営委員会理事、平成十四年衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会理事、同年外務副大臣等を歴任後現在に至る。

栃木県出身 四十八歳

内閣府副大臣に

なかじままひと
中島真人氏が就任



平成十五年九月二十五日付けで内閣府副大臣（沖縄及び北方対策担当）に中島真人氏が就任された。

平成七年参議院議員選挙で初当選。平成九年参議院議院運営委員会理事、平成十年大蔵政務次官、平成十一年参議院財政金融委員会（大蔵委員会）筆頭理事、平成十二年参議院国民福祉委員会常任委員長、平成十三年参議院厚生労働委員会常任委員長等を歴任後現在に至る。

山梨県出身 六十八歳

内閣府大臣政務官に

みやこしみつひろ
宮腰光寛氏が就任



平成十五年九月二十五日付けで内閣府大臣政務官（沖縄及び北方対策担当）に宮腰光寛氏が就任された。

平成十年衆議院議員選挙で初当選。平成十二年衆議院労働委員会理事、平成十三年衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会理事、平成十四年農林水産大臣政務官等を歴任後現在に至る。

富山県出身 五十二歳